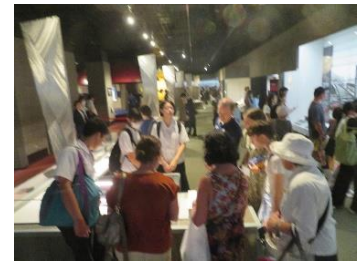


8月8日(木)・10日(土)に、2年生7名が9日の平和記念式典出席のために来崎した2名のポルトガル高校生と交流しました。

これは、昨年11月に文理探究科1期生11名が研修旅行の一環としてポルトガル大使館を訪問した際に生徒が発した、「高校生同士の交流をしたい」という言葉から、大使館や長崎県国際課の方々のご尽力で実現しました。

今回、ポルトガルからはガルシア・デ・オルタ高校の校長先生、女子高校生2名、教育委員会職員2名の合計5名が来崎されました。今回の交流会に向けて、事前にメールで自己紹介をした後、オンラインで顔合わせをして迎えた本番でした。

8日は、平和に関する探究活動を進めている2年生3名が、原爆資料館と一緒に回りました。通訳による英語の説明はあったものの、自分たちが事前に調べていた事柄をもとに積極的に会話に努め、オルタ高校の校長先生から、「色々な話ができただ。あの生徒達はとても素晴らしかった」とお褒めの言葉をいただきました。



10日は、ホテルニュー長崎に集合し、文理探究科2年生4名がポルトガル高校生2名とともに市内観光に繰り出しました。電車に乗って、まず眼鏡橋へ、その後浜町アーケードを通り抜けて新地中華街でちゃんぽんや皿うどんを味わい、アミュプラザへ移動してショッピングを楽しみました。ポルトガルの女子高生たちは、日本での物価が安いことに驚いていたようです。靴やアクセサリーを購入して満足気でした。最後は互いの連絡先を交換するなど、とても貴重な時間を過ごすことができたようです。



今回の交流を皮切りに、秋以降も長崎北陽台高校とオルタ高校の交流を続けていきます。9時間の時差を鑑みながら、まずは互いの学校について語りあうところから始めていくことになりそうです。そして徐々に、あるテーマに基づくディスカッションや、研究の相互発表に繋げていきます。今後の交流が楽しみです。

ポルトガル高校生2名と文理探究科4名に対して  
ルイ校長先生からお話がありました。 ⇒

